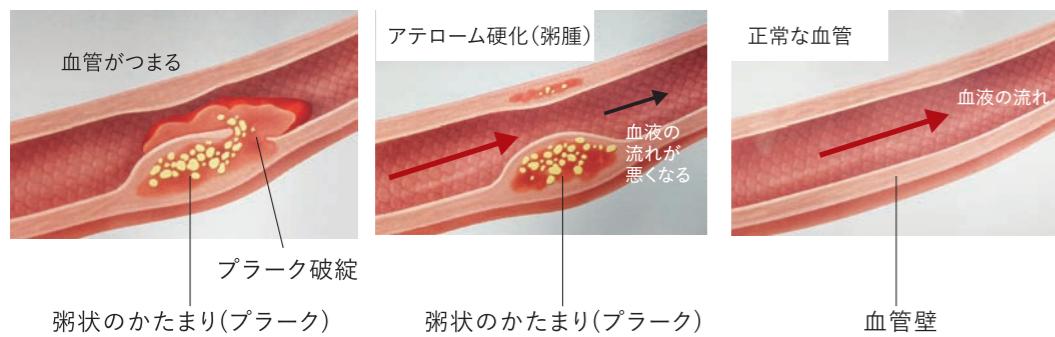


泉尾だより

IZUO DAYORI

特集

その「冷え」
大丈夫ですか？



下肢閉塞性動脈硬化症

下肢閉塞性動脈硬化症とは、文字通り動脈硬化が原因で血管が硬く細くなつて、詰まつてしまふ病気です。

● フォンテインⅠ度
足のしびれや冷感(冷たい)といった症状です。

IV度(重度)まで4段階に分けられていますが、I度からIV度へ進行していくわけではなく、いきなりIV度で見つかることもあります。

どんな症状ですか？



間歇性跛行



一定の距離を歩くと、足の裏やふくらはぎが痛くなり、歩けなくなります。しばらく休むとおさまって、また歩けるようになります。



チアノーゼ、足潰瘍

● フォンテインⅡ度
歩いていると足がだるくなったり痛くなったり、休むと再び歩けるようになるといった症状で、間歇性跛行といいます。この疾患の代表的な症状ですが、症状が回復します。

● フォンテインⅢ度
足で病気だと思われない方もいらっしゃいます。また整形外科の病気でも同じ症状が出ます。歩いていると足がだるくなったり痛くなったり、休むと再び歩けるようになるといった症状で、間歇性跛行といいます。この疾患の代表的な症状ですが、症状が回復します。

● フォンテインⅣ度
足で病気だと思われる方も多いかもしれません。また整形外科の病気でも同じ症状が出ます。歩いていると足がだるくなったり痛くなったり、休むと再び歩けるようになるといった症状で、間歇性跛行といいます。この疾患の代表的な症状ですが、症状が回復します。



暑い夏がようやく終わったと思ったら、急に寒くなってきました。「足先が冷たい」「足先が紫色になっている」「足が痛い」こういった症状はありませんか？ 寒いから、冷え性だからと思っていませんか？ 動脈硬化が原因の可能性もあり、今回は足の血流が悪くなる下肢閉塞性動脈硬化症(ASOやPAD、LEADと略されます)についてお話ししたいと思います。

済生会泉尾病院 血管外科

医師 坂下 英樹



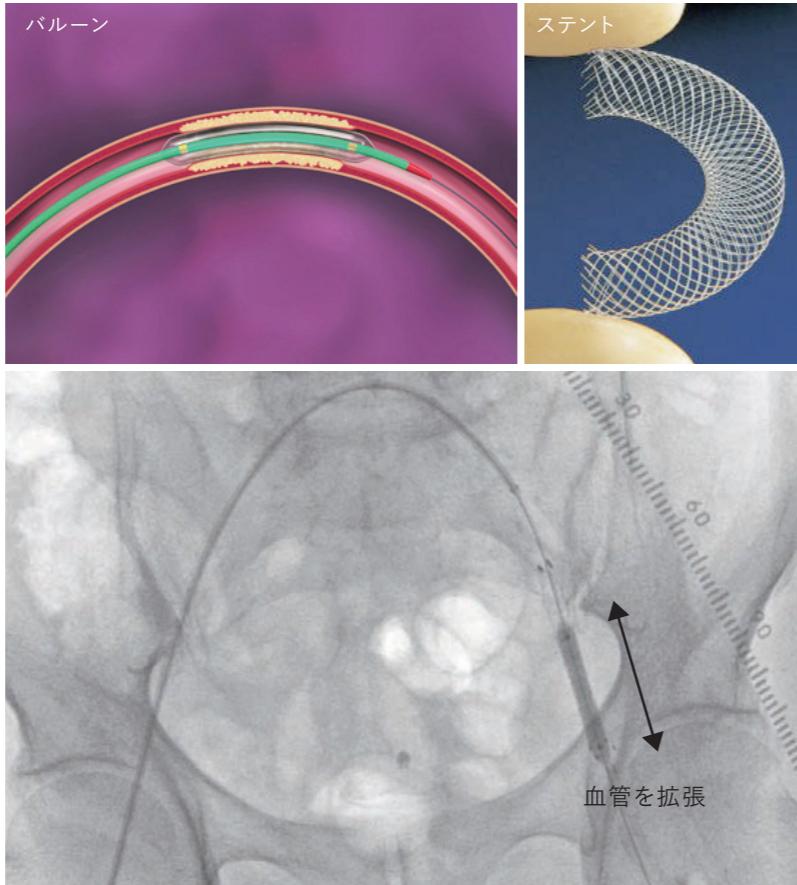
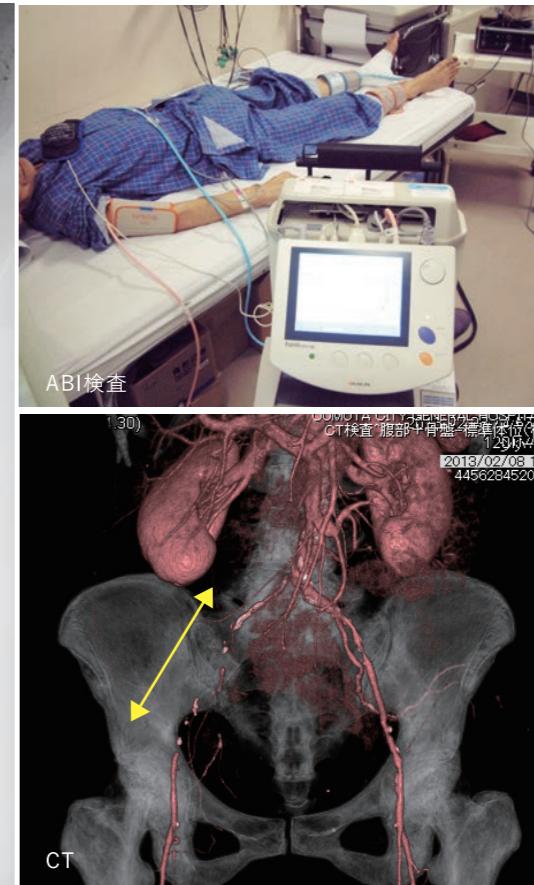
その「冷え」
大丈夫ですか？

どのように診断しますか？

専門医が患者さんの足を診察して冷たさや痛みの程度を確認し、足の脈を触れることがあります。診察により閉塞性動脈硬化症が疑わしい場合は、検査を行っていきますが、足の血流を調べる検査とし

ては、ABI（足関節上腕血圧比）、エコー（超音波）などがあり、患者さんにとって負担の少ない検査です。

これらの検査で閉塞性動脈硬化症と診断されれば、狭くなったり詰まつたりしている血管の場所や長さを調べるために造影剤を使ったCTや血管造影を行っていきます。



どうやって治療しますか？

内科的治療と、血行再建（血流を改善させます）を行うカテーテル治療（血管内治療）と外科的治療があります。

カテーテル治療（血管内治療）

足のつけねや腕の血管を刺してカテーテルという細い管を入れていき、狭くなっている詰まっている血管を風船（バルーン）で広げ、ケースによってはステントと呼ばれる金属の筒を留置します。



外科的治療

代表的なものはバイパスで、人工血管や自分の静脈を用いて血流が悪くなった部位に代わって新しい血液の道を作成します。

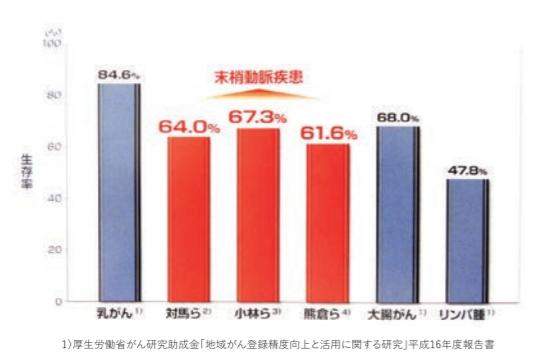
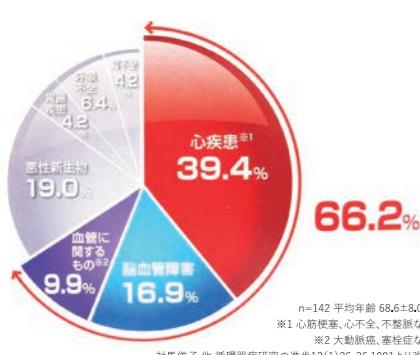
閉塞性動脈硬化症は自然予後のいい疾患ですので、無症状の患者さんに血行再建を行う必要はありません。血行再建の適応症例に対しては、血管内治療、外科的治療どちらも一長一短がありますので、個々の患者さんの全身状態や病変の部位や長さを総合的に考えて治療法を選択、あるいは組み合わせて治療を行っていきます。

内科的治療と、血行再建（血流を改善させます）を行なうカテーテル治療（血管内治療）と外科的治療があります。

内科的治療はお薬と運動療法で、後述しますが、全身の動脈硬化に対するリスクファクターの管理（血圧・血糖コントロール・脂質管理など）と生活習慣（禁煙・食生活

脂質管理など）と生活習慣（禁煙・食生活

脂質管理など）と生活習慣（禁煙・食生活



最後に、動脈硬化は足の動脈だけに起こるわけではなく全身の血管に及ぶ病態で、代表的な臓器としては心臓と脳で、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞といった疾患有あります。閉塞性動脈硬化症の5年生存率

は大腸癌よりも悪く、死因は心疾患と脳血管障害で66%にのぼるといったデータもあり、閉塞性動脈硬化症をきっかけに心疾患や脳血管障害の早期発見が重要で、動脈硬化に対するリスクファクターの管理（血圧・血糖コントロール・脂質管理など）と生活習慣（禁煙・食生活の改善・運動など）の改善が重要となります。



リハビリテーションって なんだ?

VOL.03

言語聴覚士 =「話す」・「聴く」・「食べる」のスペシャリスト

言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist) とは、ことばや聴こえなどのコミュニケーションに問題のある方々に対して相談・評価・指導・助言などの援助と、QOL（生活の質）の向上や社会参加のための支援を専門的な立場から行う専門職です。また、飲み込みに問題がある方々にも専門的に対応します。

コミュニケーションの問題

失語症

脳卒中や頭部外傷などで
「聴いて理解する」「話す」「
読んで理解する」「書く」などが困難な状態

構音障害

舌や口唇などの運動障害によって、ろれつが回りにくくなる状態

その他

言語発達遅滞、音声障害、聴覚障害など



それ他の問題

嚥下障害

食べたり、飲んだりすることが困難な状態



高次脳機能障害

集中して物事に取り組めない・段取りが悪い・臨機応変に対応できない・新しいことが覚えられない・思い出すことができないなど



言語聴覚士は病院、保健施設、教育施設（ことばの教室など）、福祉施設などさまざまな場所で働いています。当院では、医師・歯科医師・看護師・介護士・ソーシャルワーカーなどと連携して、チームの一員として患者さんを支援しています。



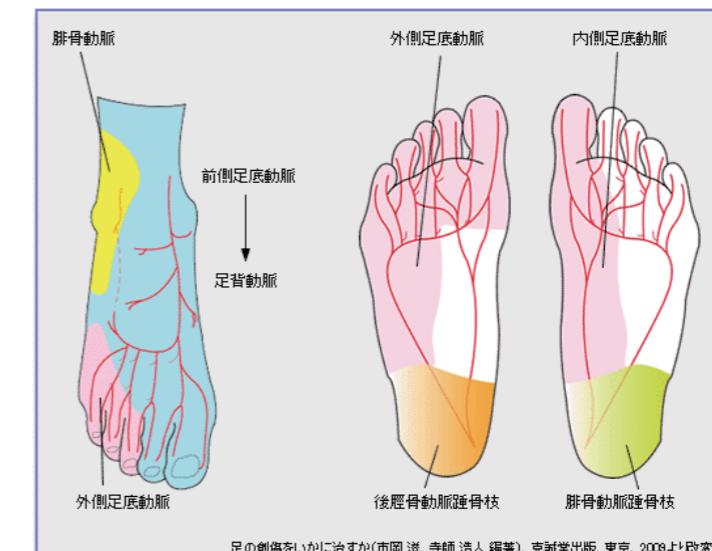
お医者さんの
ちょこっと診断

VOL.01

最近、足の痛みや冷感を感じることってないですか？

足の痛みや冷感は、足の先の血液の流れが悪くなることが原因の1つとして考えられます。

血管の動脈硬化が進むことで、血液の流れが悪くなることがあります。



足には細かくて細い血管がたくさんあります。

この血管がつまりりすることが原因で痛みや冷感を感じることがあります。



おや?と思ったら

血管のつまりや血液の流れを確認するためには、ABI/PWV検査や皮膚灌流圧検査を行うことで早期に原因を発見することができます。

足に痛みを感じることや、やけに冷たく感じるな?と思ったら ...

当院の循環器内科、血管外科等にご相談いただき、検査を受けてみてください。



皮膚灌流圧測定装置



ABI/PWV測定装置

どうすればいいの? → まずは思いを聞かせてください

多く年齢を重ねたから…とか、持病があるから…とかは関係なく、

『今あなたの気持ち』を知り、『記録』をし、『周りと共有する』ことがまずは第一歩です。

あなたが自分の想いを伝えられなくなった「もしものとき」のために、一度考えてみてはいかがでしょうか?

今すぐ決められることや、考えたくないこともあることでしょう。

「わからないこと」や「心配事」もあるでしょう。「遠慮」をすることも「気遣い」もあるでしょう。

あなたの想いを誰かに伝えることは、けっして「わがまま」ではありませんし、

あなたが今一番大切に思っていることを伝えておく、託しておくための重要なことです。

きっと関わった人たちは気持ちを聞いておいて良かったと思うことでしょう。

あなたが思った通りの人生にしてあげられる、してあげられたと思うことでしょう。

この記事を読んで「私も人生会議をしたい」と思っていただけなら、

まずは周りの人たちへ、ぜひあなたのお気持ちを伝えてください。

希望や想いは時間の経過や健康状態によっても変化していくものです。

何度もくりかえし一緒に考えていきましょう。

もしもの時に、あなたはどうしたい?

「人生会議」してみませんか?

「人生会議」とは … 希望する医療や介護サービスについて、前もって話し合い、あなたの希望・想いをご家族や主治医・ケアマネジャーなどと共有しておくこと



出典:大阪府ホームページ

- 命の危険が迫った時、約70%の人が医療や介護などの方法を自分で決めたり、望みを人に伝えたりできなくなると言われています。
- “そのとき”に備えて前もって受けたい医療・介護に対する希望を家族や施設職員、主治医に伝えておくことが重要です。



たとえば、どんなことを考えておけばいいの?

どんな治療を受けたいか

どんなところで過ごしたいか

入院・手術は
したくない

子どもには
迷惑かけたくない

病気と闘って1日でも
長く生きたい

もし私が
重い病気に
なったら…

できるだけ
住み慣れたところで
生活したい

延命につながるだけの
処置はしてほしくない



介護が手厚い
施設に替わりたい

つらくないように痛みだけは
取り除いてほしい

子どもや孫に
いつでも会えるよう
家族の近くで
過ごしたい



出典:大阪府ホームページ <https://www.pref.osaka.lg.jp/o100020/iryo/zaitaku/acp-zinseikaigi.html>

主人公はあなたです。



泉尾医療福祉センター 総長
済生会泉尾病院 院長
平居 啓治

令和7年 新年のご挨拶

皆様、新年あけましておめでとうございます。

済生会泉尾病院 院長の平居 啓治でございます。

旧年中は多くの患者さんにご信頼いただき、心より感謝申し上げます。

昨年もコロナやインフルエンザ流行の影響もあり、健康管理の大切さを改めて感じた一年でした。

当院では、引き続き感染予防対策を徹底し、皆様が安心して受診いただける環境を整えてまいります。

また、健康診断による生活習慣病の早期発見・予防医療にも力を入れております。

「地域の基幹病院」として、皆様の健康を支え続けることが私たちの使命です。

新しい年が、皆様にとって健やかで実り多き一年となりますよう、スタッフ一同心よりお祈り申し上げます。

体調に不安がある際や健康相談など、いつでもお気軽にお越しください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年 元旦

大正区人物図鑑

大正区で元気に活躍する人々を紹介します

生きがいと健康づくり・仲間づくりを応援する
高齢者の『居場所&活動場所』大阪市立大正区老人福祉センター館長

No.3 上林 周司さん



上林館長とは

民間の企業を経て、令和2年4月より大阪市立老人福祉センターの館長に就任し、4年目を迎えられます。趣味は大型バイクやロードバイクのツーリング。4輪も好きですが2輪が一番好きだそうです。以下に記載されている4つを意識し、「幸せ」になるために鋭意努力中！

1.「やってみよう！」まずは自主サークルや行事に参加、挑戦しようという気持ち
2.「ありがとうございます！」参加することでつながりや出会いに感謝する気持ち
3.「なんとかなる！」失敗しても前向きと楽観を持つ気持ち
4.「あなたらしく！」でも無理しないでマイペースを守る気持ち

皆さまのご来館
お待ちしております！

この四つの気持ちをもって大阪市立大正区老人福祉センター（以下・センター）へ來ていただけると、もれなく「幸せ」がついてきます。（幸せいのメカニズム・著者・前野隆司・講談社より）

センターのことを教えてください

センターは、大阪市社会福祉協議会が大阪市より指定管理者制度に基づき運営・管理を行っている施設であり、令和5年度年間利用者数は、延べ25764人（男性23%・女性77%）、年代別利用者は、「60代：7%」、「70代：49%」、「80代：42%」です。

運営内容は、書道やカラオケなどの文科系と卓球や太極拳など運動系の自主サークルが40以上あります。（参加するには、自主サークル入会が必要となります）

年間行事としては、「文化祭」や「夏まつり」などのイベントや「健康づくりと介護予防の促進講座」「生きがい探求講座・教養講座」など（女性の中に男性が一人）上林周司の5人で年間700回以上開催しております。特に2022年より地元ものづくり企業で、りびんぐラボ大正・港を主幹している株式会社製作所と兵庫医科大学との共同研究で呼吸筋力測定研究に対して測定会場として開放し、多くの利用者に協力していただきました。これを機会に地元の基幹病院である大阪府済生会泉尾病院との縁が繋がり、誤嚥性肺炎予防に関する講演を開催していただいている

りります。
更に昨年は神戸大学大学院保健学研究科とも繋がり、肺と体の為の健康教室を11月から2年間にわたり開催していく予定です。（参加は予約が必要となります）
予約なしで遊べるのが、囲碁・将棋、健康マジック、バンパーなどがあります。図書やテレビ、新聞も見放題、読み放題です。もちろんお茶を飲みに来ていただくだけでも来館していただけます。

教えてください 運営スタッフについて

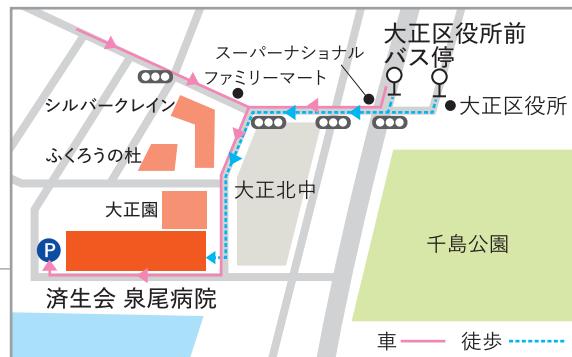
地元大正区在住のセンター職員（大谷まち子さん、森千佳子さん、澤田教子さん）と、これまで地元大正区在住の老人クラブ連合会事務局職員（上野道代さん）と旭区在住の黒一点（女性の中に男性が一人）上林周司の5人が60歳以上の方、4つの気持ちをもつて来館していただき、みんなで幸せになります！



大正区老人福祉センターのブログを更新中
センターの情報をスマートフォンでご覧になれます
二次元コードからアクセスしてください。



大阪府済生会泉尾病院への アクセス



電車をご利用の場合

JR大阪環状線・Osaka Metro長堀鶴見緑地線「大正」駅下車

● 大阪シティバス「大正橋」バス停より

- ・98番「大正区役所前」行 「済生会泉尾病院前」下車 徒歩 2分
- ・87番「鶴町四丁目」行 「新千歳」下車 徒歩 3分
- ・70番「西船町」行 「大正区役所前」下車 徒歩 8分
- ・91番「鶴町四丁目」行 「大正区役所前」下車 徒歩 8分

● タクシー 約10分

無料送迎バスあり



詳細は[こちら](#)



社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会



泉尾医療福祉センター

〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-10(シルバークレイン内)
TEL. 06-6552-8070代

泉尾病院 <https://www.izuo-saiseikai.gr.jp>
〒551-0032 大阪市大正区北村3-4-5 TEL.06-6552-0091

泉尾特別養護老人ホーム 大正園
〒551-0032 大阪市大正区北村3-4-3 TEL.06-6552-3323

障害者支援施設 北村園
〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-10 TEL.06-6552-8070

泉尾特別養護老人ホーム 第二大正園

〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-10 TEL.06-6552-8070

軽費老人ホーム ケアハウスつじ荘

〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-10 TEL.06-6552-8070

泉尾訪問看護ステーション

〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-10 TEL.06-6552-8911

障害者支援施設 ふくろうの杜

〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-12 TEL.06-6552-2960

広報誌 **泉尾だより** [No.380] 令和7年1月発行 ■ 発行人／平居 啓治

■ 発行所／〒551-0032 大阪市大正区北村3-5-10 泉尾医療福祉センター

■ 編集／広報部会 ■ 印刷／共進社印刷(株)

\ Follow me /



インスタ
始めました



IZUO_SAISEIKAI